



ほたるっ子

磐梯第一小学校
学校だより第10号
令和2年7月2日
文責：校長 酒井康雄

1番を目指すことは「極めること」

先日、スーパーコンピュータ「富岳」が世界ランキング第1位になったニュースはご存知でしょうか。1番になるっていいですね。でも、理化学研究所の理事長は、単にスピードが速いだけでなく、未来社会に役立つような優秀な性能を示すことをねらっています。

それぞれの大会やコンクールで1番になることは、親としても喜ばしいことです。1番を手に入れることは、人一倍の努力が必要です。友だちと切磋琢磨することも貴重な経験です。でも、1番になった人は、そこで満足せず、頂点を極めようとさらなる目標に向かって努力をする人が多いです。つまり、**最後は「自分との戦い」**になるわけです。

つい、「〇〇ちゃんに負けないようにがんばれ」とか「友達よりもできるようになって!」と、子どもを励ます声を耳にしたことがあります。親にとっては励ましだと思っても、友達と比較される子どもにとっては劣等感やプレッシャーを感じる場合があります。

子どもの持ち味を子どものペースで伸ばし、興味関心のあることに没頭させ、「極めさせること」こそ、子どもに継続して追究する意欲をもたせ、子どもらしさを伸び伸びと育むことにつながるのではないのでしょうか。



校庭に見られます！

日本で一番小さいキツツキ

磐梯一小の校庭には、日本で一番小さいキツツキの「コゲラ」が見られます。「ギョーツ」と鳴きながら餌を探している姿が見られます。大きさは、スズメぐらいです。

ちなみに、会津には日本で一番小さいトンボも見られます。「ハッチョウトンボ」という種で大きさは約2cm位のトンボです。

